

補助事業番号 22-21

補助事業名 平成22年度 自転車に関する普及啓発等補助事業

補助事業者名 財団法人 日本自転車普及協会

## 1. 補助事業の概要

### （1）事業の目的

自転車文化センター、地方小学校等で自転車利用の普及啓発活動、情報提供を行うことによって、環境にやさしい自転車社会づくりと自転車の需要喚起を促し、自転車産業および機械工業の振興に寄与する。

### （2）実施内容

#### ①自転車文化センター事業

自転車文化センターにおいて、自転車に関するあらゆる情報を提供するための資料収集1,020点、海外自転車情報報告2件、調査研究5件、また自転車産業の振興ならびに自転車の普及啓発のために企画展2回、特別展4回を行った。

#### ※催事一覧

[http://cycle-info.bpa.or.jp/japanese/event/event\\_kako/event\\_kako.htm](http://cycle-info.bpa.or.jp/japanese/event/event_kako/event_kako.htm)

#### ※研究報告書

<http://cycle-info.bpa.or.jp/japanese/kenkyouhoukusho.html>

また、「北ノ丸サイクル」における3D立体ハイビジョンシアター上映用映像ソフトの制作や、全国小学校巡回上映会等を実施したことにより、自転車の競技・歴史・文化・交通ルールなど様々な分野について、児童・生徒を始めとする若年層を中心に、幅広く普及啓発活動を行った。

第14回ツアーオブジャパンの開催に際して、堺・美濃・南信州・伊豆・東京の各ステージにおいて大型映像装置による場内実況中継を実施した。



〈企画催事：2010自転車文化センター展 会場写真〉

## 2. 予想される事業実施効果

### ①自転車文化センター事業

科学技術館「北ノ丸サイクル」「自転車広場」への年間入館者数613,705人と、「自転車文化センター情報室」年間入場者数43,843人に加え、テレビ・新聞等のマスコミ取材や資料貸出（59件）、テレビ番組出演や雑誌原稿作成・講演（18件）、来館者以外の電話・メールによる問合せ（466件）に対して情報提供や回答を行うなどの広報活動を通じて、自転車競技をはじめ、技術・歴史・文化・社会との関わりに関する幅広い普及啓発を図り、以って自転車の需要喚起につなげることができる。

第14回ツアーオブジャパンの開催に際して、場内実況中継を実施したことを通じて、来場した一般の方に自転車競技のイメージアップと普及啓発を図ることができる。

## 3. 本事業により作成した印刷物

自転車文化センター研究報告書第3号 300部



<http://cycle-info.bpa.j.or.jp/japanese/kenkyouhoukokusho.html>

## 4. 補助事業者連絡先

団体名：財団法人 日本自転車普及協会

（ザイダンホウジン ニホンジテンシャフキュウキョウカイ）

住所：107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番3号

代表者名：会長 阿部毅一郎（アベ キイチロウ）

担当部署：事業部

担当者名：部長 山本耕治（ヤマモトコウジ）

電話番号：03-3585-7578

FAX番号：03-3586-9782

E-mail：g y o u 2 @ j i f u . j p

URL：http://www.bpa.j.or.jp/